

主な供養の行事

神式の場合(霊前祭)

死亡日を含めて	呼び方	内容
翌日	翌日祭	遺族だけで行う事が多いが省略されることもある。(神官に確認)
死後10日目	十日祭	神官・親族・知人を招き祭詞奏上や玉串を捧げる。 十日祭は、葬儀当日にそのまま続けて行う事もある。
死後20日目	二十日祭	遺族だけで行う事が多い。(神官に確認)
死後30日目	三十日祭	遺族だけで行う事が多い。(神官に確認)
死後40日目	四十日祭	遺族だけで行う事が多い。(神官に確認)
死後50日目	五十日祭	神官・親族・知人を招き忌明けの供養をする。「清祓の儀」「合祀祭」を 同じ日に行う事が多く、また「埋葬祭」も行う場合もある。 (五十日祭にて忌明けとします)
五十日祭の翌日	清祓祭	五十日祭と一緒にを行う事が多い。(神官に確認)
初めての盆	新盆	遺族だけで行う。
死後100日目	百日祭	神官・親族・知人を招き行う。
死後1年目	一年祭	神官・親族・知人を招き行う。
死後2年目	二年祭	遺族だけで行う事が多い。
死後5年目	五年祭	遺族だけで行う事が多い。
死後10年目	十年祭	遺族だけで行う事が多いが、神官・親族・知人を招き行う事もある。
死後20年目	二十年祭	遺族だけで行う事が多い。これ以降は行わない事が多い。

※百日目までは、十日ごとに十日祭を行うのが正式です。

※命日の前の休日に合わせて行事の日取りを変えることも多少あります。

※三十年祭、四十年祭、五十年祭、百年祭を行う場合もあります。